

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

平成28年10月28日

米子市議会議長様

会派名 公明党議員団

代表者氏名 安田 篤

提出者氏名 前原 茂



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安田篤・前原茂・今城雅子・矢田貝香織
期日	平成28年10月24日から平成28年10月26日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 10/24 ペップキッズこおりやま 元気な遊び広場事業について 担当課 郡山市こども部こども支援課 10/25 仙台市起業支援センター 起業支援「アシスタ」について 担当課 仙台市経済局産業政策部地域支援課 10/26 石巻市役所 震災からの復興状況について 担当課 石巻市復興政策部地域振興課	
〔所感〕 別紙記載	
経費	旅費総額 360,603円

【所 感】

●郡山市 元気な遊びひろば（ペップキッズこおりやま）について

施設概要：施設面積は約 7,000 m² 鉄骨平屋建て 活用面積は 1,900 m² 駐車約 120 台
土地建物の所有は地元企業(株)ヨークベニマルであり、無償で郡山市が借り受ける。

施設の目的としては、東日本大震災のあとの子供たちの運動不足やストレスを解消する目的で平成 23 年 12 月 23 日に設置された。対象は未就学児童及び小学生とその保護者。利用料は無料となっている。「遊ぶ、学ぶ、育つ」の 3 つのエリアで区分されていて、12 の遊び場で構成されている。利用者は一日平均 934 人で、開設以来 150 万人を超えている。非常に人気の施設であり、地域の認知度の高い施設である。

福島原発事故の後、子どもたちの屋外遊びに支障をきたしていた。その中で子どもの運動不足やストレスの解消を目指して国の 10/10 の補助金で設置。

来訪した時間帯は午後 2 時であったが、未就学児童で施設は溢れていた。エアトラックで元気いっぱい走る姿やボールプールで喜んで遊ぶ姿が観察できた。

米子市においても同様な施設を新駅ビル内で設置できないものか、今後の模索されたい。

●仙台市 仙台市起業支援センター 『アシスタ』について

平成 26 年 1 月 30 日設置。 設置目的は、震災復興特需の後に、持続可能な地域経済発展を目指すため、地元で起業しやすい環境づくりを推進。震災バブルにより地域経済は元気を取り戻したが、バブル後の地元経済を安定させるためにも仕事を作らなくてはならない。

そのために、税理士や行政書士、中小企業診断士などの専門的な職員を配置し、気軽に相談できる体制をとっている。平日は相談員が 2 人体制で常駐し、起業を目指す女性のため女性相談員配置、夜間相談も月 1 回以上行っている。起業数も H27 年には開設時の 4.3 倍の 82 人。相談者数も年々上昇傾向になっている。施設は相談しやすい環境であることが随所に感じた。例えばホームページの作成についても相談に乗り、無料で作れるツールを紹介し、指導してくれる。年間の起業相談イベントが 100 件以上と職員は多忙極まる。

しかし、それだけ地域で必要とされている施設であることがわかる。

わが市においても、起業しやすい環境づくりが必要である。仙台市の『アシスタ』のような施設の必要性を感じた。

●石巻市 東日本大震災からの復興について

多くの人の生命を奪った震災から6年が経過しようとしている。その多くの人の命を奪ったのが津波である。石巻市では、死者、行方不明者を含めて3,600人。また、家屋の全損が20,039棟、半壊、一部損壊は36,663棟 石巻市の全住宅の76.6%であった。

最大避難者数は、50,758人 人口の1/3に該当。 現在、約7割のインフラが復旧している。国からの支援が入り、震災前の市の一般会計予算が617億であったが、震災後は約2,200億円になっている。災害復興基本計画として、①災害に強いまちづくり ②産業・経済の再生 ③絆と協働の共鳴社会づくり の3本の柱を立てている。H23～25年を復旧期 H26～29年を再生期 H30～32年を発展期と位置づけている。

震災後5年を経過し、今後国の支援も減少することが予測される。地元経済の建て直し課題となっている。

米子市においても、災害に強い街づくりを推進していかねばならないことを強く感じた。

今回の鳥取中部における地震の被害を見ても、建物の耐震化やライフラインの確保、緊急時の対応マニュアルなど平時における用意がいかに重要であることを認識できた。